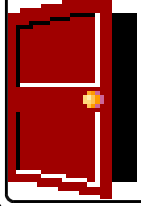


《読書活動の楽しさと大切さを伝えたくて》



# 読書活動への扉を開く！

桑村小学校 令和4年4月25日 文責 渡邊

今回も、保護者の皆様方から感想が寄せられましたので、紹介させていただきます。

## ◆保護者の声から

保育園時代には、読み聞かせはほとんどできず、小学校の入学をきっかけに週1回の親子読書が始まり、最初は仕事も家事もへトヘトで、面倒くさいと思っていたが、息子とのコミュニケーションの一つとなり、毎日何を読むのかが楽しみになりました。母親だけでなく父親が読む日があったりもします。図書館や書店に行くことも多くなり、多くの本と出会うこともでき、「この本、学校にもある。」と親子の会話も広がってきています。絵本が中心ですが、小学校に入学してからは、本が好きになるのだと新たな一面を見つけることができました。(2年生保護者)

ご両親共にお仕事をされていてお疲れの中、お父さんとお母さんが協力されて「読み聞かせ」をされているところがすばらしいと思います。

また、お子さんと書店や図書館に出かけられているとのこと、これもよいことであると思います。大人が本を選ぶのではなく、お子さんと共に選ぶことは子供自身にとって貴重な体験となります。私は本屋さんに行くのが大好きです。本屋さんに行くとそれぞれの本屋さんの工夫を見ることができます。書架の配列も店ごとに工夫がされていて、本の良さを解説したポップを見るとワクワクしてくるのです。幸せな時間を過ごせることが嬉しいです。

「読書」を通して親子のコミュニケーションを図ることの大切さが分かりました。しかし、現代の家庭では、共働き家庭が多く、なかなか本を読み聞かせる時間を設けることが難しいように感じています。その中で、学校をあげて「読み聞かせ」を行ってもらえることは本当に有り難く思っています。本は、世代を超えることができる、誰でも親しみ楽しむことができる素晴らしいものです。感情の成長の中で、多くの本に触れられる活動を、是非、進めていって頂きたいです。(3年生保護者)

お仕事でお疲れの中、いかに「読み聞かせ」の時間を設け、行っていくのか。私たち大人がたいへんであるという苦痛を感じては、お子さんは楽しむことができないのではないのでしょうか？大人も子供も楽しむことのできる方法はないのでしょうか？お父さんやお母さんは、お仕事に忙しく、お疲れの中、なかなか「読み聞かせ」を実施することの難しさは理解できます。さて、どのような方法が有効なのでしょう？

そこで、保護者の皆さん、是非、よいアイデアを出し合いませんか。ご意見をお待ちしています。

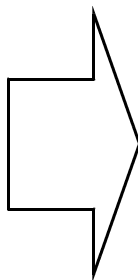
『読書活動の扉を開く』を読ませていただきました。普段、調べ事をする時にパソコンやスマホを使っている人が大半だと思うのですが、世の中が便利になった分、文字離れが進んでいる気がします。文章を読んで理解して自分なりの意見を書き出す作業や、相手の話を最後まで聞き、背景にある映像を思い浮かべる、全て想像と創造につながっていくと思います。我が家では、毎日寝る前に必ず読み聞かせをしています。

一緒に図書館に行き、借りたい本を自分で選んでいる時の子供たちの目は、キラキラ輝いています。ゲームやパソコンも子供たちはとても好きで、毎日遊んでいます。メディアに触れた分、外で思いっきり遊ぶことを心がけています。まだまだ成長が著しいこの時期に、いろいろな体験をさせてあげたいと思っています。(3年生保護者)

お子さんと一緒に「図書館」に行くということを実践されていることをお知らせいただきました。図書館では、お子さんの目が「キラキラ輝いている」というところ、とてもよく分かります。函南町には、とても素敵な図書館(「知恵の和館」)があります。先日、館長さんとお話する機会があり、児童図書も充実しているので、是非利用していただきたいということでした。親子で町の図書館に出かけることは、子供たちにとって読書活動に対する興味付けになるのではないのでしょうか。

今回、たくさんの感想や意見を寄せていただきありがとうございました。また、紹介させていただきたく思います。よろしく申し上げます。

さて、最後に、校長室の様様替えについてです。予定黒板の下に、簡単な本棚を用意し、図書を並べました。この図書は、本校の職員や児童、保護者の皆様にご利用いただきたく思います。



【4月1日の校長室】

★図書を校長室に

【4月13日の校長室】

4月16日に書店に行き、新しく図書を購入してきました。文芸書と新書、教育書といろいろなジャンルから選んできました。

今から読むのが楽しみです。が、「積ん読」も多々あることを反省しています。では、今回はこれで終わりにします。読んでくださりありがとうございました。

----- 切り取り線 -----

「読書活動の扉を開く」(4月25日号)を読んだの感想

( )年( )